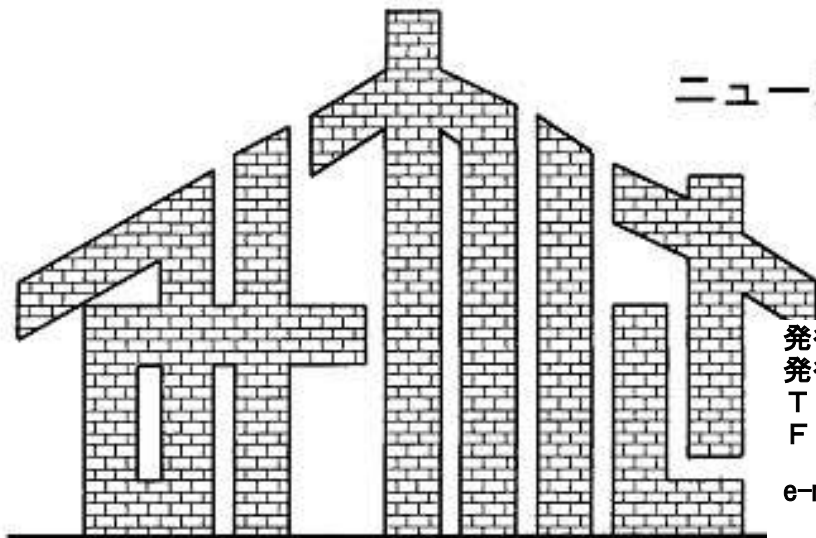


2023 年

ニュース

5

月号



発行日： 2023 年 4 月 30 日
発行者： カトリック横須賀三笠教会
TEL： 046-823-0042
FAX： 046-823-1031

e-mail : mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟の原告の声」

みかさきょうかい しゅにんしさい はまさきまさ み
三笠教会 主任司祭 浜崎 眞実

よぼうほういけんこっかばいしょうせいきゅうそしょう げんこく こえ
5月11日は、「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」の原告が勝訴した判決の日
です。今から22年前の2001年のことでした。その後、家族たちが訴訟を起こし、そ
の原告勝訴の判決が2019年6月28日に出されています。その後、日本の司教団
から「謝罪声明」が出されました。そのことに関してハンセン病病歴者でカトリック
信者である森元美代治さんがメッセージを出しています。遠い昔のことではなく、今
の時代のこととしてここに紹介します。イエスの福音を生きる上で考えさせられる
内容です。

はんせんびょう かか にほんか とりっくしきょうだん しゃざいせいめい おも
「ハンセン病に関わる日本カトリック司教団の謝罪声明」について思う

かみ くに けんせつ なに
～神の国の建設とは何か～

た まぜんしょうえんか とりっく あいとくかいかいちょう
多磨全生園カトリック愛徳会 会長
もりもとみ よじ
森元美代治

りゃく
～略～

ねん らいよぼう かん けん ほうだい ごう はじ ねん
1907年の「癩予防に関する件」、法第11号に始まって、1996年の「らい
よぼうほう はいし じつ ねん なが
予防法」廃止にいたるまでの、実に89年の長きにわたって、日本政府はハンセン病

あやま にんしき かんじゃ しゅうせいきょうせいかくり こくさく
についての誤った認識のもと、患者を終生強制隔離するという国策を
と つづ かんじゃ かぞく ひつぜつ つ
取り続けてきました。そのために、われわれ患者やその家族は、筆舌に尽くしがたい
くのう じんせい あゆ
苦悩の人生を歩まざるをえませんでした。

ねん ぶろみん はんせんびょう とっこうやく かいはつ ふじ おも
1943年に、プロミンというハンセン病の特効薬の開発により、不治と思われて
ほんびょう かじ せかいほけんきかん せかいがっこう
いた本病が可治となりました。そのために、WHO(世界保健機関)はじめ世界各国
かくりせいさく かいほういりょう てんかん ねんいたりあ まるた
では、隔離政策から開放医療へと転換しはじめました。1956年イタリアのマルタ
きしかい はんせんびょうかんじゃ たい じんけんほご しゃかいふっきもんだい てーま ろーま
騎士会によるハンセン病患者に対する人権保護や社会復帰問題をテーマに、ローマ
こくさいかいぎ ひら かいぎ にほん よぼうほう ひかがくてき
で国際会議が開かれました。この会議では、日本の「らい予防法」は非科学的かつ
ひじんけんてき あき かんじゃべっし さべつほう ただ どうほう かいはい
非人権的で、明らかに患者蔑視の差別法であり、直ちに同法を改廃するようにと
せんこく かいぎ にほん はんせんびょう せんもんい めい さんか
宣告されています。その会議には、日本のハンセン病の専門医3名が参加してしまし
はまの きくおせんせい ふじかえできょうかいもとりじちよう はんまー
たが、そのうちのひとりの濱野規久雄先生(藤楓協会元理事長)は、ハンマーで
あたま なぐ おも きこくごじゅっかい
頭を殴られる思いであったと、帰国後述懐しています。

こくさいてき うご はじ にっぽんせいふ にほん
こうした国際的な動きが始まっていたにもかかわらず、日本政府や日本らい
がつかい き い ご ねんかん きょうせいかくりせいさく つづ
学会はそれを聞き入れず、その後も40年間、強制隔離政策をとり続けていまし
とき にほん かとりっくきょうだん おな かとりっくきょうかい いたりあ まるた
た。この時、わが日本のカトリック教団が、同じカトリック教会のイタリアのマルタ
きしかい うご むし にっぽんせいふ にほん がつかい ついずい かがいしゃ たちば
騎士会の動きを無視し、日本政府と日本らい学会に追随し、加害者の立場に
とど ざんねん い とき ろーませんげん
留まったことは、残念と言わざるをえません。この時に、「ローマ宣言」をもとに、
にっぽんせいふ はたら ひろ せかい きょうかい まじ
日本政府への働きかけができたのではないのでしょうか。広く世界の教会と交わり
かとりっくきょうかい しめい は
をもっているカトリック教会ならではの使命が果たせたのではなかったのしょう
おも
か、そう思われてなりません。

ねん くまもとちさい きくちけいふうえん ほしづかけいあいえん めい にゅうしょしゃ げんこく
1998年に、熊本地裁で菊池恵楓園と星塚敬愛園の13名の入所者が原告と
よぼうほういけんこっかばいしょうせいきゅうそしょう ていき つづ とうきょうちさい
なり、「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」が提起されました。続いて、東京地裁
おかやまちさい おな そしょう ていき ねん くに
および岡山地裁でも、同じ訴訟が提起されました。そして2001年5月に、国の
あやま みと げんこくぜんめんしょうそ はんけつ え
過ちが認められ、原告全面勝訴の判決を得ています。

りやく
～略～

よぼうほういけんこっかばいしょうせいきゅうそしょう げんこく わたし た
「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」の原告として、私たちが立ちあがった
はんせんびょうとうじしゃ じんけん かいふく へんけん さべつ しゃかい
のは、ハンセン病当事者の人権を回復し、偏見や差別のない社会をめざして、

人間らしく生きられる社会を創りなおすことにありました。
全生園のカトリック教会では、第二日曜日はイエズス会の神父が交替でミサを授けに来てくれていましたが、「らい予防法」廃止から裁判の決着までの5年の間に、一度だけイエズス会のアメリカ人のハンコック神父だけが「みなさん、おめでとう！」と、言ってくれたのでした。

私は、ルカによる福音書の中にでてくるあの物語を思い起さないではいられません。追剥ぎに襲われて倒れている旅人を見て見ぬふりをして、その旅人を遠ざけていった祭司たちと、その傷ついた旅人を憐れに思い宿に連れて行って手当をし、治療費とホテル代とを置いて名も告げず立ち去った異邦人であるサマリア人と、どちらが神の民(=隣人)と言えるのか。「行ってあなたも同じようにしなさい。」そうイエス・キリストに言われた律法学者の物語です。

この物語と日本カトリック教団のハンセン病問題に対する関わり方が、私には同じように見えてなりません。ハンセン病問題に古くから関わってきたのがカトリック教団であるにもかかわらず、ハンセン病患者が人間扱いをされなかった悲劇的な歴史を改めようとせず、傍観者であり続けてきたのが、とても残念です。

カトリック信仰の中心的な教理が愛と義であり、ミサの中では必ず、神の国の建設を謳い、「主の祈り」を唱えているにもかかわらず、われわれハンセン病患者を神の民として真に受けいれてくれているのでしょうか。神の国の建設の協働者としてみなしているのでしょうか、それとも憐れみの対象としているのでしょうか、疑問に思うことがあります。

霊的指導者の立場にある司教団が、ハンセン病問題のみならず、わが国固有の被差別部落の問題やヘイトスピーチ、障害者差別の問題などに、もっと積極的に関わり、自分の問題として受けとめてほしいと思います。

そして、すべての信者ひとりひとりが、このような社会の底辺に生きる小さきものを、主に結ばれた兄弟姉妹として受け入れ、共に生きていくことができるように、働きかけていってほしいと思います。

これこそが、イエスの望まれた神の国の建設ではないのでしょうか。

にほん ほんせんびょうもんだい かぞくそしょう げんこく めい かつきてき しょうそはんけつ
日本のハンセン病問題は、家族訴訟の原告(561名)の画期的な勝訴判決を
え れきし あたら べーじ ひら はじ
得て、歴史の新しい 頁を開き始めています。

にほん かとりっくきょうだん こんご と く かつどう しゅいえす きりすと
わが日本のカトリック教団の今後の取り組み、活動が、主イエス・キリストに
なら ころ いの
倣ったものになるよう、心からお祈りしています。

2019年8月30日

こくりつりょうようじょ た まぜんしょうえん
国立療養所多磨全生園にて

ねん がつ きょうかいいんかい
2023年 4月の教会委員会

おこな きょうかいいんかい ほうこく
4月2日(日)に行われた教会委員会の報告です。

てんれいれき きょうじ かつどう
<典礼暦と行事・活動>

ふくいんせんきょうぶかい こうざ いま はまさきし
4月1日(土)福音宣教部会 講座「今なにごおきているのか」浜崎師

じゅなん しゅじつ えだ しゅじつ
2日(日)受難の主日(枝の主日)

きょうかいいんかい てんれいぶかい
教会委員会、典礼部会

せいもくようび
6日(木)聖木曜日 19:30

せいきんようび
7日(金)聖金曜日 19:30

せいどようび
8日(土)聖土曜日 19:00

ふっかつ しゅじつ
9日(日)復活の主日

ふっかつせつだい しゅじつ かみ しゅじつ
16日(日)復活節第2主日(神のいつくしみの主日)

ふっかつせつだい しゅじつ
23日(日)復活節第3主日

えいごみさ
英語ミサ 15:00

ふっかつせつだい しゅじつ まきし むしんぶさまししき
30日(日)復活節第4主日 マキシム神父様司式

てんれいけんしゅうかい みさ
典礼研修会「ミサをみつめなおそう」

ふくいんせんきょうぶかい
5月6日(土)福音宣教部会

ふっかつせつだい しゅじつ
7日(日)復活節第5主日

きょうかいいんかい てんれいぶかい
教会委員会、典礼部会

こうざ げんぱつせいさく なに ないとうしんご ぼくし
13日(土)13:00講座「“原発政策”とは何か？」内藤新吾牧師

ふっかつせつだい しゅじつ がいこくせき ひとびと ささ みさ
14日(日)復活節第6主日「外国籍の人々と捧げるミサ」

けんしんじゅんびこうぎ
11:00 堅信準備講座
しゅ しょうてん しゅうかいさいぎ
21日(日) 主の昇天 集会祭儀
せいれいこうりん しゅじつ
28日(日) 聖霊降臨の主日
えいごみさ ふらわーおふえりー
15:00 英語ミサ、フラワーオフエリー

ねんど やくわりぶんたんひょう こうしん しんとかんろうか けいじぼん けいじ
☆2023年度の役割分担表を更新しました。信徒館廊下の掲示板に掲示しましたので、
かくにん ねが
確認をお願いします。

けんしんじゅんびちーむ し
—堅信準備チームからお知らせ—
みさごせいどう はまさきし けんしん ひせき はなし じゅけんしゃ
5月14日(日)ミサ後聖堂にて、浜崎師より堅信の秘跡についてお話があります。受堅者と
だいふぼ あつまくだ
その代父母はお集り下さい。

しゅ ふっかつ よろこ みな
🌸 主のご復活の喜びを皆で

ふっかつ しゅじつ みさ ひさ せいどう めいちか みなさま
4月9日(日)復活の主日のミサは久しぶりに聖堂がいっぱいになり、200名近くの皆様と
とも えいご ろうどく きょうどうきがん おこな しゅ ふっかつ よろこ わ あ
共に、英語での朗読、共同祈願も行われ、主の復活の喜びを分かち合いました。
みさご ぱーていー さきだ ふいりぴんこみゆにていー かたがた はつあん きょうりよく
ミサ後のパーティーに先立ち、YMFC(フィリピンコミュニティ)の方々の発案と協力で、
ことしはじ えっくはんていんぐ さぶらいず はい たまごがたけーす さが げーむ かいさい
今年初めてエッグハンティング(サプライズが入っている玉子型ケースを探すゲーム)を開催。
こども おとな いま にわ かく えっく こ ま はっけん て
子供も大人も入り交じり、庭に隠されたエッグ100個はあっという間に発見されて、手にした
かたがた らっきー
方々はラッキーでした！

なかにわ かわいいしーる いろづ たまご くぼ きょうかいがっこう ようい ちゃりていー
中庭では可愛いシールや色付けされた玉子が配られ、教会学校で用意したチャリティー
いーすたーれい かんぱい てーぶる かこ おい こーひー の かし
のイースターレイは完売。テーブルを囲んで美味しいコーヒーを飲み、お菓子をつまみながら、
ころなか かいほう さいかい よろこ ひと わ
コロナ禍からひととき解放され、あちらこちらに再会を喜ぶ人の輪ができました。
ぱーていーなか ことし けんしんしがんしゃ めい しょうかい しんと みなさま
パーティー半ばには、今年6月11日の堅信志願者のうちの4名を紹介し、信徒の皆様
ひ つづ しがんしゃ いの よ じぜん こがたかくせいき ようい
引き続き志願者のためにお祈りして下さるよう呼びかけました。事前に小型拡声器を用意
ふてぎわ しょう しかい こえ とお ざんねん
たのですが、不手際で使用できず、司会の声が通らなかったのは残念でした。
じゅんび かたづ きょうりよく いただ みなさま ほんどう
準備や片付けに協力して頂いた皆様、本当にありがとうございました。

きょうかいいいんかい さこう
教会委員会 酒匂みづほ





きょうかいがっこう
教会学校より

がつ にち にち きょうかいがっこう そつぎょうしき
3月19日(日) 教会学校の卒業式でした。

ほんらい みさ さいご ちゅうこうせい おく かい ちゅうこうせいがい ただいまていしちゅう
本来なら、ミサの最後、中高生に送る会をするはずでしたが、中高生会は只今停止中
なので、卒業生の紹介だけしました。5名中、4名が出席しました。

ひ きょうかいがっこう しじゆんせつ ふっかつさい じゅうじか おこな
その日教会学校では、四旬節、そして復活祭、みんなで「十字架のみちゆき」を行った
あと そつぎょうせい まえ で きょうかいがっこう おも で かた ざいこうせい ぐれぜんとぞうてい
後、卒業生が前に出て、教会学校の思い出を語ってもらい在校生より、プレゼント贈呈。
そつぎょう きょうかい い そつぎょう ちゅうこうせいがい ふっかつ きょうかい も あ
卒業だから、教会に行くのも卒業！！ではなく、中高生会を復活させ、教会を盛り上
げて欲しいと思います。

そつぎょうせい たまよ けん
卒業生 タマヨ ケン
のだ まりあんな
野田 茉杏南
たきがわ の あ
瀧川 乃愛
ほしな ようこ
保科 陽子
けっせき れいば あいりす
(欠席) レイバ アイリス

きょうかいがっこう す た っ ふ
教会学校スタッフ

けんしんじゆんぴだい かいべんきょうかい ほうこく
堅信準備第5回勉強会の報告

だい かいべんきょうかい ふ い ー る ど わ ー く
第5回勉強会フィールドワーク③

にちじ ねん がつ にち にち けんしんじゆんぴしゃ めいちゅう めいさんか
日時：2023年3月26日(日)14:00~16:00 堅信準備者21名中12名参加

ばしよ しんとかん しゅうかいしつ
場所：信徒館・集会室

てーま よこすかかりよくはつでんしよ かんが
テーマ：『横須賀火力発電所について考える』

こんかい よこすかかりよくはつでんしよけんせつ かんが かいだいひょう すずきりくろう ねが
今回は、横須賀火力発電所建設を考える会代表、鈴木陸郎さんをお願いしたところ、
こころよ ひ う くだ で き わか かつ はなし うかが ねが
快く引き受けて下さいました。また出来れば若い方からお話を伺いたいとお願いすると、
こうこうせい しょうがくせい さんか
なんと高校生と小学生が参加してくれました。

ひ しょうちゅうこうこうせい しゅっせきりつ よ すずき わか ひと
その日は小 中 高校生の出席率がとても良く、鈴木さんは「こんなに若い人たちに
あつ はじ かんどう
集まってもらうのは初めてだ！」と感動していました。

かりよくはつでんしょ はな おも いぎりす どこえ ぱきすたん
まず、火力発電所のことから話すのかと思いきや、イギリスの40℃越え、パキスタンの
だいこうずい どいつ ごうう えいぞう にほん ぼうふう こうずい たいふう ほくりくしんかんせん しんすい はいしゃ
大洪水、ドイツの豪雨の映像、また日本の暴風、洪水、台風で北陸新幹線が浸水し廃車に
なってしまったことなどを見せ、そこには地球温暖化が影響している。では地球温暖化どう
み ちきゅうおんだんか えいきょう ちきゅうおんだんか
して起こるのか？それは人間が化石燃料の過剰燃焼で、自然界の炭素循環を乱し、
お におんだんか にんげん かせきねんりょう かじょうねんしやう しぜんかい たんそじゅんかん みだ
温暖化につながってしまう。それに歯止めをつけるため、世界は頑張っているのだが、日本は
しんこう おそ うえ よこすか せきたんかりよくはつでんしょ かどう
その進行が遅い上に、横須賀に石炭火力発電所を稼働させようとしている。これはおかしい
じゅん お せつめい わたし でき なに な か
のではないかと、順を追って説明し、では私たちに出来ることは何か？と投げ掛けました。
すうえーでんじん ぐれた じよせい がっこう すとらいき きこうへんどうもんだい
また、スウェーデン人のグretaさんという女性が、学校をストライキしてまで気候変動問題に
あつ うった ようす き
ついて熱く訴える様子も、聞きました。

よこすか きこうへんどう ともな かりよくはつでんしょけんせつはんたい うった きこうまーち おこな まーち
横須賀でも、気候変動に伴い、火力発電所建設反対を訴える、気候マーチを行い、マーチ
せんとう た ふたり ぼうとう はなしたがあくせい はなし き ふたり べんきやうか こうこうせい
の先頭に立つ二人、冒頭に話した学生から話を聞きました。二人とも勉強家で、高校生の
おんな こ きこうまーち まわ しせん つめ かん ぐれた
女の子は、気候マーチをしていると、周りの視線がとても冷たいと感じた。Gretaさんはこん
がんば わたし くりはま す ひと じょうほう し
なに頑張っているのに、私たちは...。久里浜に住んでいる人たちは、この情報を知って
じょうほう き りやうしん とも かんが い
いるのか？もっとこの情報を聞いて、両親、友だちと考えてほしいと言っていました。

きやう はなし き きこうまーち さんか おも ひと みな
また、今日の話聞いて気候マーチに参加したいと思った人はいますか？と皆さんに
き て あ ひと すうめい こんかい べんきやう よ
聞いたところ、手を挙げた人が数名いて、今回の勉強はとても良いものになったな、みんな
はくしゅ さいご あた ちゃ の なご お
に拍手でした。最後に温かいお茶を飲み、和やかに終わりました。

いとうともみ
伊藤智未





『四旬節の集い』ご報告

3月12日(日)のミサの後、市内在住の2人の講師による黙想講演会『四旬節の集い』
 が行われました。

第一部は、高野 聡さん(原子力資料情報室)をお迎えし、「韓国カトリック教会はいかに
 脱原発・気候正義運動を実践しているのか」について、お話しいただきました。

第二部は、呉東正彦さん(原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会)。一昨年6
 月の基地周辺土地規制法の勉強会以来、二年ぶり二度目となる今回は、「米空母横須賀
 配備50年にヨコスカが先制攻撃基地となる意味を考える」という題でお話しいただきま
 した。

第一部に47人、第二部に46人が参加し、そのうち半数くらいは三笠教会以外の方でし
 た。

参加者からは、韓国というすぐお隣の国での出来事に「まったく知らなかった」「驚いた」
 という反応や、基地をめぐる国や市の動きと現状には「自分の暮らす街のことなのに、いま
 で知らなかった」という感想が聞こえてきました。

今回の集いで私たちは、教会の「外」の方々から、知らなかったことを教えていただき
 ました。

これらのことを、どう考えればいいのでしょうか。

参加者からの質問に答えて高野さんからは、私たちにできることもいくつか具体的に教
 えていただきました。

これからどう行動するのか、私たちは宿題をいただいたように思います。

かねこ ゆみ
 金子 由美



ロザリオの聖母

(Bartolomé Esteban Pérez

Murillo)

きょうかいさいじき せいぼつき

【教会歳時記】聖母月

かとりっくきょうかい がつ せいぼつき

「カトリック教会では、5月は聖母月としています。

せいぼつき しんじん きんせい せいき いたりあ さか
聖母月の信心は近世からのもので、18世紀のイタリアで盛んと

なりました。この5月は、四季折々の中で春の訪れとともに

しぜんかい みの かん しゅ ふっかつ
自然界の実りをもっとも感じさせてくれ、また主の復活の

よろこ きぼう み つき おも
喜びと希望に満ちた月でもあります。そのような思いをもって

つき まりあ まりあすうけい いの つづ しんじん
この月をマリアにささげ、マリア崇敬のために祈り続ける信心

でんとう とうぜん かんが
が伝統としてなされてきたことは当然のように考えられます。」

かとりっくちゅうおうきょうぎかい

(カトリック中央協議会HPより)

せいきぜんはん はじ せいほうきりすときょうかい ぶんれつ しゅうきょうかいかく しゅうきょうていたいりつ

16世紀前半から始まった西方キリスト教会の分裂(宗教改革)は、宗教的対立だ

りょうち そうだつ せんらん ひ お とち じんしん こうはい
けでなく領地の争奪などによって戦乱を引き起こし、土地や人心を荒廃させました。ほとん

のうみん とうじ ひとびと せいぼ まりあ なぐさ はげ もと はじ しぜん
どが農民であった当時の人々が聖母マリアに慰めと励ましを求めて始められた自然

はっせいてき しんじんぎょうじ い
発生的な信心行事と言えます。

とりびあ ふあていま せいぼ だいいちじせかいたいせん ちゅう
【トリビア】 5月13日 ファティマの聖母 第一次世界大戦(1914年~1918年)中の

ふあていま ぼるとがるちゅうが にん ぼくどうるしあ さんとす やしんた
1917年5月13日ファティマ(ポルトガル中部)で3人の牧童ルシア・サントス、ヤシタ・

まると ふうらんしすこ まると まえ せいぼ しゅつげん せいぼ まいつき にち かい
マルト、フランシスコ・マルトの前に聖母が出現しました。聖母は10月まで毎月13日に6回

しゅつげん せいぼ むげんざい やど ぎょうれつ おこな つみ つぐな ろざりお いの
出現し、聖母の無原罪の宿りをたたえる行列を行い、罪を償い、ロザリオの祈りを

とな しんじゃ し かれ い せいぼ しゅつげん ねんげんち
唱えるよう信者たちに知らせなさいと彼らに言いました。聖母の出現は1930年現地

れーりあ しきょう こうにん ねん きねんび せいいてい
レーリアの司教により公認され、1967年には記念日が制定されました。

せいぼ ほうもん せいぼ しんせき えりざべと たず きねん しゅくじつ
5月31日 聖母の訪問 聖母が親戚のエリザベトを訪ねたことを記念する祝日です。この

ときせいぼ とな さんか るか かくいんしよ しょう せつ らてんごぼん さいしよ ことば
時聖母が唱えた賛歌(ルカ福音書1章47~55節)のラテン語版の最初の言葉が

まぐにふいかと たましい しゅ
マグニフィカトMagnificat anima mea Dominum(「わたしの魂は主をあがめ」)です。

まりあ こうどう えりざべとほうもん み えりざべと しゅつさんまえ じゅんび
「このマリアのとった行動・エリザベト訪問は、身ごもっていたエリザベトの出産前の準備を

てつだ かみ りんじん あい きょう しゅくじつ
手伝うためであり、それは神と隣人への愛のしるしでもあるのです。今日の祝日は、その

いみ いわ たす ひつよう かた あい じっせん
意味でただお祝いすることだけでなく、助けを必要としている方へあなたも愛の実践を

こころ ひ こころ きょうかい しゅくさいじつ みかさ にゆーす
心がける日でもあるのです。」(心のともしび「5月の教会の祝祭日」より)(「三笠ニュース」

へんしゅういん かわしまみちお
編集委員 川嶋理夫)

FLORES DE MAYO

Announcement

Kindly be informed of this upcoming event in Mikasa Catholic Church

WHAT : Flores de Mayo (May Flower Event)

WHEN: May 28th at 2:00 pm, 4th Sunday before the English Mass

WHO : Children ages 5 to 18 years old

HOW : To those parents who wish to have their children join the event, kindly be at church for the assembly at 1:00 pm.

Have your children wear the Filipino National Costumes if possible. If not, gowns, suits or any formal wear will do.

The procession will start at exactly 2:00 pm

There will be some games for the children and tea time after the mass.

We look forward to seeing you and your children at this event.

Everyone is also encouraged to bring flowers to be offered to our Blessed Virgin Mary during the mass.

ASSEMBLY TIME: 1:00 pm

PROCESSION: 2:00 pm

HOLY MASS: 3:00 pm

GAMES/TEA TIME: 4:00 pm

フロレス デ マヨ

日時 : 5月28日(日) 午後 2時00分 英語ミサ前

参加者 : 5歳から18歳まで

集合時間 : 13:00

行列開始 : 14:00

ミサ : 15:00

ゲーム/ティーパーティー: 16:00～